

◆Windows XP SP2 から Windows XP SP1a へのダウングレード手順書◆

■対象機種

・FMV-E635

■必要なもの

●リカバリディスク

●ドライバズディスク

●Windows XP Service Pack 1a

「Windows XP Service Pack 1a」(以降、Windows XP SP1a と記載します)をお持ちでない場合は、マイクロソフト社の次のサイトからダウンロードして、ディスクなどに保存してください。

<http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/pro/downloads/servicepacks/sp1/>

●OS 修正プログラム

次の OS 修正プログラムを、あらかじめマイクロソフト社の次のサイトからダウンロードして、ディスクなどに保存してください。

- ・ マイクロソフト サポート技術情報 文書番号 831167 「Web サイトにログオンできない、インターネット トランザクションを完了できない、または HTTP 500 (内部サーバー エラー) ページが表示される」
<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;831167>
- ・ マイクロソフト サポート技術情報 文書番号 331958 「スタンバイまたは休止状態に入った場合やメモリ ダンプの書き込みでハード ディスク ドライブが破壊される可能性がある」
<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;331958>
- ・ マイクロソフト サポート技術情報 文書番号 820291 「Windows XP の新しい [プログラムのアクセスと既定の設定] スタート メニュー アイコンとヘルプについて」
<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;820291>
- ・ マイクロソフト サポート技術情報 文書番号 822603 「Windows XP SP1 USB 1.1 および 2.0 更新プログラムについて」
<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;822603>
- ・ マイクロソフト サポート技術情報 文書番号 826942 「Windows XP のワイヤレス機能に関する更新のロールアップ パッケージ」
<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;826942>

●「RecordNow」CD-ROM

(カスタムメイドで DVD-ROM&CD-R/RW ドライブ、またはスーパーマルチドライブが搭載されている場合)

■注意事項

- ・ Windows XP SP1a へのダウングレードは、リカバリ操作を伴います。リカバリを実行するドライブのデータは削除されますので、ハードディスク内の必要なデータはあらかじめバックアップを行ってください。
- ・ カスタムメイドで 160GB のハードディスクを選択している場合、137GB を超える領域を設定していると、「Windows XP Service Pack 2」(以降、Windows XP SP2 と記載します)のアンインストール時に、その領域のデータが失われる可能性があります。
- ・ Windows XP SP2 をアンインストールした後、Windows XP SP1a をインストールするまでの間、USB2.0 対応機器は速度が落ちた状態で動作します。
- ・ 作業手順によっては再起動メッセージが表示される場合があります。その場合はメッセージに従って再起動してください。
- ・ 作業中、「新しいハードウェアの検出ウィザード」ウィンドウが表示された場合は、「キャンセル」をクリックしてください。
- ・ 周辺機器を取り付けている場合は、ダウングレード作業中はすべて取り外しておいてください。
- ・ LAN ケーブルは「Windows Update」を行うとき以外は、接続しないでください。
- ・ ワイヤレス LAN 搭載モデルをお使いの場合は、作業途中で次のウィンドウが表示される場合があります。その場合は「はい」をクリックしてください。

タイトル: WindowsXP Wireless Zero Configuration の無効化

メッセージ: インストール時に Atheros Client Utility の使用が選択されました。しかし、Wireless Zero Configuration がこのアダプタを制御しています。無効にしますか？

■ダウングレード手順

Windows XP SP1a へのダウングレードは、必ず次の手順に従って行ってください。

- ①ご購入時の状態に戻す
- ②ソフトウェアをアンインストールする
- ③「Windows XP Service Pack 2」をアンインストールする
- ④「Windows XP Service Pack 1a」をインストールする
- ⑤OS 修正プログラムをインストールする
- ⑥「Windows Update」を実行する
- ⑦ウイルス対策ソフトをインストールする(推奨)
- ⑧ソフトウェアをインストールする
- ⑨「デバイスマネージャ」でドライバを更新する
- ⑩ワイヤレス LAN の設定を行う(ワイヤレス LAN 搭載モデルの場合)
- ⑪光磁気ディスクユニットの設定を行う(カスタムメイドで「光磁気ディスクユニット追加」を選択している場合)

□ご購入時の状態に戻す

添付の『取扱説明書』をご覧ください、リカバリを実行してください。

リカバリでは、次の操作を行います。

- ・BIOS の設定をご購入時の状態に戻す
- ・リカバリを実行する
- ・Windows XP セットアップ

《POINT》

Windows XP のセットアップでは、最終設定を正しく行うために「必ず実行してください」の実行まで完了してください。

□ソフトウェアをアンインストールする

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
2. 「プログラムの追加と削除」をクリックし、次の順番でソフトウェアをアンインストールします。

①Sonic RecordNow!

（「プログラムの追加と削除」ウィンドウに表示される場合）

②Windows XP ホットフィックス - KB884018

（「更新プログラムの表示」のチェックを付けて、一覧に表示される場合）

③FastTrak RAID controller utility

（IDE-RAID モデルをお使いの場合）

④UpdateAdvisor(本体装置) V1.20 L11

《POINT》

アンインストール中に「今までに適用した履歴の情報を削除してよろしいですか？」というメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

⑤FM Advisor V3.30 L10

⑥Viewpoint Media Player (Remove Only)

⑦viewdocs

⑧Adobe Reader 6.0.1 - Japanese

⑨FMV 診断

⑩MO Security Tool

⑪MO Supplement for XP

⑫ATI Control Panel

（カスタムメイドで ATI RADEON(TM) X300 SE PCI-Express 64MB DDR DVI-I LP（以降、RADEON X300 SE と記載します）を選択している場合）

⑬ATI Display Driver

（カスタムメイドで RADEON X300 SE を選択している場合）

⑭Microsoft .NET Framework 1.1 Japanese Language Pack

⑮Microsoft .NET Framework 1.1

□「Windows XP Service Pack 2」をアンインストールする

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
2. 「プログラムの追加と削除」をクリックします。
「プログラムの追加と削除」ウィンドウが表示されます。
3. 「Windows XP Service Pack 2」を選択し、「削除」をクリックします。
「Windows XP Service Pack 2 削除ウィザード」ウィンドウが表示されます。
4. 「次へ」をクリックします。

《POINT》

「Service Pack 2 を削除すると、このプログラムが正しく作動しない可能性があります。続行しますか？」というメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

5. 「完了」をクリックします。
本パソコンが再起動します。

□「Windows XP Service Pack 1a」をインストールする

1. あらかじめ用意した、Windows XP SP1a を保存したディスクをセットします。
2. インストール実行ファイルをダブルクリックします。
「Windows XP Service Pack 1 セットアップウィザード」ウィンドウが表示されます。
この後は、メッセージに従って操作します。インストール完了後は必ず再起動してください。

□OS 修正プログラムをインストールする

1. あらかじめ用意した、OS 修正プログラムを保存したディスクをセットします。
2. 「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」の順にクリックします。
3. ディスクをセットしたドライブをダブルクリックします。
4. OS 修正プログラムのアイコンをダブルクリックし、次の順番でインストールします。
インストールはメッセージに従って行ってください。

《POINT》

各 OS 修正プログラムのインストール後は、必ず再起動してください。

- ① マイクロソフト サポート技術情報 文書番号 831167 「Web サイトにログオンできない、インターネットトランザクションを完了できない、または HTTP 500 (内部サーバーエラー) ページが表示される」
- ② マイクロソフト サポート技術情報 文書番号 331958 「スタンバイまたは休止状態に入った場合やメモリ ダンプの書き込みでハードディスクドライブが破壊される可能性がある」
- ③ マイクロソフト サポート技術情報 文書番号 820291 「Windows XP の新しい[プログラムのアクセスと既定の設定] スタートメニューアイコンとヘルプについて」
- ④ マイクロソフト サポート技術情報 文書番号 822603 「Windows XP SP1 USB 1.1 および 2.0 更新プログラムについて」
- ⑤ マイクロソフト サポート技術情報 文書番号 826942 「Windows XP のワイヤレス機能に関する更新のロールアップパッケージ」

□「Windows Update」を実行する

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
「ネットワークとインターネット接続」ウィンドウが表示されます。
3. 「ネットワーク接続」をクリックします。
「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。
4. 「ローカルエリア接続」を右クリックして「プロパティ」をクリックします。
「ローカル エリア接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

《POINT》

「ローカル エリア接続」は「ローカル エリア接続 2」のように数字が付く場合があります。

5. 「詳細設定」タブをクリックします。
6. 「インターネットからのこの～」にチェックします。
7. 「OK」をクリックします。
8. ネットワーク管理者に確認し、LAN などの設定を行います。
9. LAN コネクタに LAN ケーブルを接続します。
10. 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックします。
「セキュリティ警告」ウィンドウが表示されます。
11. 「はい」をクリックします。
「最新の Windows Update ソフトウェアを入手してください。」と表示されます。
12. 「今すぐインストール」をクリックします。
13. 「カスタム インストール」をクリックします。
「インターネットへ情報を送信するときに～」というメッセージが表示されます。
14. 「はい」をクリックします。
15. 「Windows Update の最新バージョンを使用するには～」というメッセージが表示されたら、「今すぐダウンロードしてインストールする」をクリックします。
「更新プログラムをインストールしています」ウィンドウが表示されます。
16. 「更新プログラムをインストールしています」ウィンドウで「お使いのコンピュータは正しく更新されました。」と表示されたら、「今すぐ再起動」をクリックします。
本パソコンが再起動します。
17. 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックします。
「Windows Update」が起動します。
18. 「カスタム インストール」をクリックします。

《POINT》

「Windows XP Service Pack 2(セキュリティ強化機能搭載)」が表示された場合は、「他の更新プログラムを確認する」をクリックしてください。

19. 「優先度の高い更新プログラムの確認」で更新プログラムが 1 つ以上あることを確認し、「更新プログラムのインストール」をクリックします。
20. 「インストール」をクリックします。
「更新プログラムをインストールしています」ウィンドウが表示されます。
21. 「更新プログラムをインストールしています」ウィンドウで「お使いのコンピュータは正しく更新されました。」と表示されたら、「今すぐ再起動」をクリックします。
本パソコンが再起動します。
22. 「優先度の高い更新プログラムの確認」で利用可能な更新プログラムがなくなるまで手順 17～21 を繰り返してインストールします。

23. 「ソフトウェア用の更新プログラムを追加で選択」をクリックします。
24. 「単独インストール:DirectX 9.0c エンド ユーザー ランタイム」を選択し「更新プログラムのインストール」をクリックします。
25. 「インストール」をクリックします。
「更新プログラムをインストールしています」ウィンドウが表示されます。
26. 「更新プログラムをインストールしています」ウィンドウで「お使いのコンピュータは正しく更新されました。」と表示されたら「今すぐ再起動」をクリックします。
本パソコンが再起動します。
27. 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックします。
「Windows Update」が起動します。
28. 「カスタム インストール」をクリックします。

《POINT》

「Windows XP Service Pack 2(セキュリティ強化機能搭載)」が表示された場合は、「他の更新プログラムを確認する」をクリックします。

29. 「ソフトウェア用の更新プログラムを追加で選択」をクリックします。
30. 「追加で選択できるソフトウェア用の更新プログラム」で次のソフトウェアにチェックをし、「更新プログラムのインストール」をクリックします。
 - ・ 「Windows Media Player 10」
 - ・ 「Microsoft .NET Framework Version 1.1 日本語版」
31. 「インストール」をクリックします。
「更新プログラムをインストールしています」ウィンドウが表示されます。
32. 「更新プログラムをインストールしています」ウィンドウで「お使いのコンピュータは正しく更新されました。」と表示されたら「閉じる」をクリックします。
33. 「インストールの結果」が表示されたら「残りの更新プログラムを今すぐ確認し、インストールする」をクリックします。
34. 「優先度の高い更新プログラムの確認」で更新プログラムが 1 つ以上あることを確認し、「更新プログラムのインストール」をクリックします。
35. 「インストール」をクリックします。
「更新プログラムをインストールしています」ウィンドウが表示されます。
36. 「更新プログラムをインストールしています」ウィンドウで「お使いのコンピュータは正しく更新されました。」と表示されたら、「今すぐ再起動」をクリックします。
本パソコンが再起動します。
37. 「優先度の高い更新プログラムの確認」で利用可能な更新プログラムがなくなるまで、手順 17～21 と同じ操作を繰り返してインストールします。

《POINT》

この後、ウイルス対策ソフトをインストールする場合は、次の「口ウイルス対策ソフトをインストールする」が終わってから、LAN ケーブルを抜いてください。

□ウイルス対策ソフトをインストールする(推奨)

Windows Update 実行後は、ウイルス対策ソフトをインストールし、ウイルス対策のデータファイルを最新にしてウイルスチェックを実行することによって、システムの安全性を確認することをお勧めします。

1. ウイルス対策ソフトをインストールします。

ウイルス対策ソフト「AntiVirus」については、『FMV マニュアル』の「トラブルシューティング」―「トラブルに備えて」―「コンピュータウイルス対策」をご覧ください。

《POINT》

『FMV マニュアル』は、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET のビジネス向けホームページ (<http://www.fmwORLD.net/biz/>) 内のマニュアルです。機器の取り付け、ソフトウェア、トラブルシューティング、およびカスタムメイドなどについて説明しています。

『FMV マニュアル』は、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FMV マニュアル」から参照してください。

2. ウイルス対策のデータファイルを最新にし、ウイルスチェックを実行します。

「AntiVirus」の使用方法については、ヘルプをご覧ください。

3. LAN コネクタから LAN ケーブルを抜きます。

□ソフトウェアをインストールする

1. 「ドライバーズディスク」をセットします。

「ドライバーズディスク検索」ツールが自動的に起動します。

2. 「ドライバーズディスク検索」ツールからインストールするソフトウェアを検索し、次の順番でインストールします。

《POINT》

必ずインストールするソフトウェアのフォルダを開き、「readme.txt」または「install.txt」に従ってインストールしてください。

《POINT》

各ソフトウェアのインストール後は、必ず再起動してください。

①Intel 915G Chipset Software Installation Utility

②Intel 915G Display Driver (カスタムメイドで RADEON X300 SE を選択していない場合)

③ATI RADEON Display Driver (カスタムメイドで RADEON X300 SE を選択している場合)

④Realtek High Definition Audio Driver

《POINT》

「Reame.txt」に記載されている「更新インストール」の方法でインストールしてください。

「新規インストール」の手順とは異なりますので、ご注意ください。

⑤富士通 3 モードフロッピーディスクドライバ

⑥MO ドライバ・ユーティリティ (カスタムメイドで「光磁気ディスクユニット追加」を選択している場合)

⑦FMV 診断

⑧Adobe Reader

⑨viewdocs

⑩Viewpoint Media Player

⑪FM Advisor/UpdateAdvisor (本体装置)

⑫FastTrak100TX2 IDE RAID Utility (IDE-RAID モデルをお使いの場合)

3. カスタムメイドで「スマートカードリーダー／ライター追加」を選択している場合、添付の「スマートカードリーダー／ライター搭載モデルをお使いのお客様へ」に従って、次のソフトウェアをインストールします。
 - ・スマートカードリーダー／ライター USB 2A ドライバ V1.1.0.25
4. カスタムメイドで DVD-ROM&CD-R/RW ドライブ、またはスーパーマルチドライブが搭載されている場合、『FMV マニュアル』―「ソフトウェア」をご覧ください、次のソフトウェアをインストールします。
 - ・Sonic RecordNow!

□「デバイス マネージャ」でドライバを更新する

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「マイコンピュータ」を右クリックして「プロパティ」をクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
2. 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。
3. 「！」マークが付いているデバイスがある場合、そのデバイス名を右クリックし「削除」をクリックします。
4. 「デバイスの削除の確認」ウィンドウで「OK」をクリックします。
5. 「！」マークが付いているデバイスがなくなるまで手順3～4を繰り返し行ってください。
6. 開いているウィンドウをすべて閉じ、本パソコンを再起動します。

□ワイヤレス LAN の設定を行う(ワイヤレス LAN 搭載モデルをお使いの場合)

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
「ネットワークとインターネット接続」ウィンドウが表示されます。
3. 「ネットワーク接続」をクリックします。
「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。
4. 「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックして「プロパティ」をクリックします。
「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

《POINT》

「ワイヤレス ネットワーク接続」は「ワイヤレス ネットワーク接続 2」のように数字が付く場合があります。

5. 「ワイヤレス ネットワーク」タブをクリックします。
6. 「Windows を使ってワイヤレス ネットワークの設定を構成する」にチェックがないことを確認します。

《POINT》

チェックが付いている場合は、チェックを外します。

7. 「OK」をクリックします。

□光磁気ディスクユニットの設定を行う(カスタムメイドで「光磁気ディスクユニット追加」を選択している場合)

1. 「スタート」ボタン→「マイ コンピュータ」の順にクリックします。
「マイ コンピュータ」が表示されます。
2. 「リムーバブルディスク」を右クリックして「プロパティ」をクリックします。
「リムーバブル ディスクのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
3. 「ハードウェア」タブをクリックします。
4. ディスクドライブの一覧から「FUJITSU MCP3064UB USB Device」または「FUJITSU MCP3130UB-S USB Device」を右クリックして「プロパティ」をクリックします。
「FUJITSU MCP3064UB USB Device のプロパティ」または「FUJITSU MCP3130UB-S USB Device のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
5. 「ポリシー」タブをクリックします。
6. 「パフォーマンスのために最適化する」と「ディスクの書き込みキャッシュを有効にする」にチェックがないことを確認します。

《POINT》

チェックが付いている場合は、チェックを外します。

以上で作業は終了です。

なお、引き続き設定などを行う場合は、次の点に留意してください。

- ・ 「インターネット接続ファイアウォール」が有効になっていますので、お使いのネットワーク環境に合わせて設定を変更してください。
- ・ カスタムメイドオプションを選択している場合は、『FMV マニュアル』内の「カスタムメイドオプション」にあるマニュアルをご覧ください、ソフトウェアのインストールなどの必要な設定を行ってください。
- ・ ハードウェアやソフトウェアを追加した場合は、インストール後に「Windows Update」や「Office のアップデート」を再度実行して、セキュリティ環境を最新の状態に更新することをお勧めします。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ATI、RADEON は ATI Technologies Inc.の登録商標です。

その他の各製品は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright(C) FUJITSU LIMITED 2004